

事業番号	07 03 06	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州起業家・ベンチャー企業育成支援事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	創業・サービス産業振興室	
	施策の総合的展開	1-1信州をけん引するものづくり産業の振興 5創業支援・経営体質の強化 1-5地域の暮らしを支える産業の振興 3創業支援・経営体質の強化			E-mail	service@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3活力と循環の信州経済の創出			実施期間	H27 ~	
	施策展開	3-(1)経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	次世代の長野県経済を担う産業を創出するため、県内の中高生の創業への関心を高める。県外からの移住起業家の増加を促進するとともに、コワーキングスペースを活用し、未来の信州の起業家の増加につなげる。											
現状(予算編成時)	平成26年6月24日閣議決定「日本再興戦略」改訂2014において、「初等中等教育からの起業家教育の推進」が掲げられている。人口減少社会を迎え、他県に先駆けて移住創業の支援施策を実施し、人口増に取り組む必要がある。民間(コワーキングスペース)における創業支援が取り組まれており、官民一体となった「日本一創業しやすい環境づくり」を進め、地域経済の活性化と雇用の創出、人口の社会増を推進していく必要がある。											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 長野県ものづくり産業振興戦略プラン									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	・起業家による講演の実施 創業体験プログラムモデル校として、中学校1校、高等学校1校を選定実施 ・創業支援先進モデル創造事業(旧・コワーキングスペース活用型起業支援先進モデル創造事業)による創業件数 20件											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H28事業実績	H28(当初)	H28(決算)	H29(当初)					
		信州アントレプレナー(起業家)育成事業	委託	中学校、高等学校において県内外の起業家による講演を実施、モデル校において創業体験プログラムを実施(委託先 榊角川アスキー総合研究所)	1,300	1,298	1,300					
	創業支援先進モデル創造事業(旧・コワーキングスペース活用型起業支援先進モデル創造事業)	補助金	コワーキングスペース等の事業運営に係る費用を補助(起業支援者の育成・拡大、県外起業家等の誘致、学生ベンチャー・若者の創業育成、女性の創業促進)	4,800	2,005	3,200						
	エンジェル税制活用セミナーの開催等	直接	エンジェル税制の制度や活用方法の周知を図るため、講師を招き、県内各地でセミナーを開催する等	97	0							
	合計			6,197	3,303	4,500						
事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
		当初予算	8,482	6,197	4,500				目標	成果		達成状況
		補正予算				創業体験実施数	-	2校	2校	2校	達成	-
		合計(A)	15,782	6,197	4,500							
	Aの財源	一般財源	7,300	6,197	4,500	創業事業活用による創業件数	-	20件	20件	7件	未達成	-
		県債										
		国庫支出金										
		その他	8,482	0	0							
	決算額(B)	14,187	3,303									
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10								
	概算人件費(C)	828	791	791								
概算事業費(B(A)+C)	15,015	4,094	5,291									
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 信州アントレプレナー育成事業については、委託事業者や学校とも綿密に連絡を取り、目標どおりに実施することができた。 創業支援先進モデル創造事業については、参加者が実際に創業に至るまでに時間がかかることや、事業を実施したコワーキングスペースで追跡調査をすることが難しい参加者がいたことなどから、把握できた創業件数は7件にとどまった。 											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・中高生の創業体験については引き続き、信州アントレプレナー育成事業により実施することとし、中高生から起業に向けた意識を高めていく。 ・創業支援先進モデル創造事業については、他の創業支援事業と合わせた民間委託事業とする。この事業の中で民間事業者の柔軟な発想とノウハウを活かして、コワーキングスペースや「ながの創業サポートオフィス」の推進員等と連携することで、より体系的、継続的な支援を行い、創業件数の増加を図る。
--------------------	---